

県大会出場 おめでとうございます

- ① 会場の開館は 8 時 00 分、練習は 8 時 10 分から 8 時 35 分までです。
入場は 2 階からお願いします(1 階入り口は運営役員と一般の体育館利用者様用です)。
- ② 観覧席の座席は、2 日とも地区別です。応援・選手・引率等、これに従ってください。
各座席の最前列および 2 列目は対戦校の応援用ですので、荷物は置かないようにお願いします。また応援者は試合が終わったら移動してください。
- ③ 監督会議は 8 時 25 分から行います。
※団体戦の日は、メインアリーナ南側にある大会議室で行います。
個人戦の日は、サブアリーナで行います。
- ④ 団体戦は 3 位決定戦、個人戦はベスト 16 決定以降、順位決定戦を行います。
- ⑥ 表彰式には団体戦ベスト 4、個人戦ベスト 16、優秀選手（団体戦優勝・準優勝校から各 1 名および個人戦ベスト 16）は必ず参加してください。
- ⑦ 会場では湯茶は特別に準備してありません。
- ⑧ 競技場内では水分補給は認めます。水分補給はゲーム間、タイムアウト時のみとし、監督の指導のもとでのみ許可します。また体育館の床を汚さないように注意してください。もし汚れた場合は必ず責任を持って拭き取ってください。
- ⑨ 選手・監督・アドバイザーは土足と土足禁止の場所の区別をしてください。
体育館シューズで応援席とフロア（競技場）を行き来することは可能です。ですが、フロアに入る際は足ふきマットで汚れを取ってください（応援席は土足でもかまいません）。
体育館シューズのままトイレに入ることは禁止です。スリッパにはき替えるか、体育館シューズのままはけるスリッパを必ずはいってください。
- ⑩ 飲食は観覧席でとることができますが、ゴミ等は必ず持ち帰ってください。
- ⑪ 万が一気分が悪くなった場合は、本部席まで様子を伝えてください。救護室は本部席裏です。
- ⑫ 熱中症等の緊急処置が必要となった場合は、救護で応急処置は行いますが、病院への搬送等の全般的な対応は引率者が責任をもって行ってください。
- ⑬ 今年度も保護者の応援席について制限はありません。
- ⑭ 貸し切りバスで来場する学校は、必ず駐車場案内のバスを停車させる位置を守ってください。

選手・監督・アドバイザーの皆様へ

本大会において特に大会運営上留意すべき点を記載しますので、事前によくお読みください。

1 申し合わせ事項

- ①本大会は原則として現行の日本卓球ルールに基づいて行うが、違反などは原則レットとする。
ただし、場合によっては審判長判断により失点等もある。
- ②団体戦の審判について
 - ・相互審判で行う。決勝戦と3位決定戦は審判員（県内教員）が行う。
 - ・オーダーの読み上げや、結果の記録は若番のチームの選手・監督が行う。
- ③個人戦の審判について
 - ・敗者審判で行う。試合に負けた場合、記録用紙とピン球の入ったカゴを本部まで持っていき、次の試合の記録用紙を受け取り、自分が試合をしていた台の審判に入る。
 - ・ベスト8決定戦以降の試合は審判員（県内教員）が行う。
 - ・タイムテーブル1回目の試合については、2回戦から試合があり、対戦相手の決まっていない選手が審判を行う。（誰がどこの台の審判かは放送で連絡する）
- ④団体戦予選リーグの進行について
 - ・ベンチは、本部席側（ステージ側）を若番の学校とする。
 - ・1試合2台進行とする。
 - ・1つの団体戦の試合が終わるごとに、タイムテーブルの対戦順に沿って試合を入れていきます。
- ⑤団体戦の2次リーグと順位決定戦の進行について
 - ・チーム番号の若番（A～D）の学校が本部席側とする。
 - ・変則3台進行で行う。最初に1番・2番の対戦を行う（2台進行）。そのどちらかの対戦が終了後、3番以降を入れ3台進行で行う。
- ⑥団体戦のタイムアウトについて
 - ・団体戦に限り、予選・決勝を問わず、タイムアウトを監督・選手・アドバイザーは要求することができる。
- ⑦個人戦
 - ・若番の選手は、本部席側に座ることとする。

2 試合前の準備

団体戦

- ◎オーダー用紙の提出について
 - *予選リーグ、2次リーグ…各試合の前に、試合を担当するコート主任に提出をする。コート主任がオーダーを記録用紙に書き写したら、若番のチームの主将に渡すので、コールはキャプテンが行う。
 - *順位決定戦…本部席（審判長）に試合開始の5分前までに提出する。
- ◎整列時は登録選手以外に監督とアドバイザーも整列してください。

個人戦

◎選手はコート（競技領域）に、試合開始時刻5分前に集合すること。ただし、試合をするコートで前の試合がまだ行われている場合は、その試合が終わるのを確認してから、速やかに集合する。

* 場内放送によるコールは行わない。ただし、試合コートが変更になったときや、選手がそろわない場合、およびタイムテーブルを変更する場合はコールを行う。

* コートに入ったら、記録用紙に自分の名前があるかを確認し、対戦相手も同様に確認をしたら試合を始める。

3 試合開始手順

本大会では以下の手順で試合を開始することとする。

- ①選手同士のラケット交換（向かい合って点検する。相手選手のラケットを監督やアドバイザー、他の選手等には見せることができない）
- ②ジャンケンで、試合球（ヴィクトス・ニッタク）の選択、サービス・レシーブ・エンドの選択。
- ③練習（1分以内）

4 団体戦予選リーグ終了後

- ・各チーム監督は本部や掲示物からリーグ戦の勝敗の結果を確認する。
- ・3チームの勝敗（試合得点）が並んだ場合は、本部席で審判長のもと当該チーム間での試合の計算を行い、順位を決定し、各チーム監督は結果を確認する。
（日本卓球ルールに基づき3点先取法で決定する。）

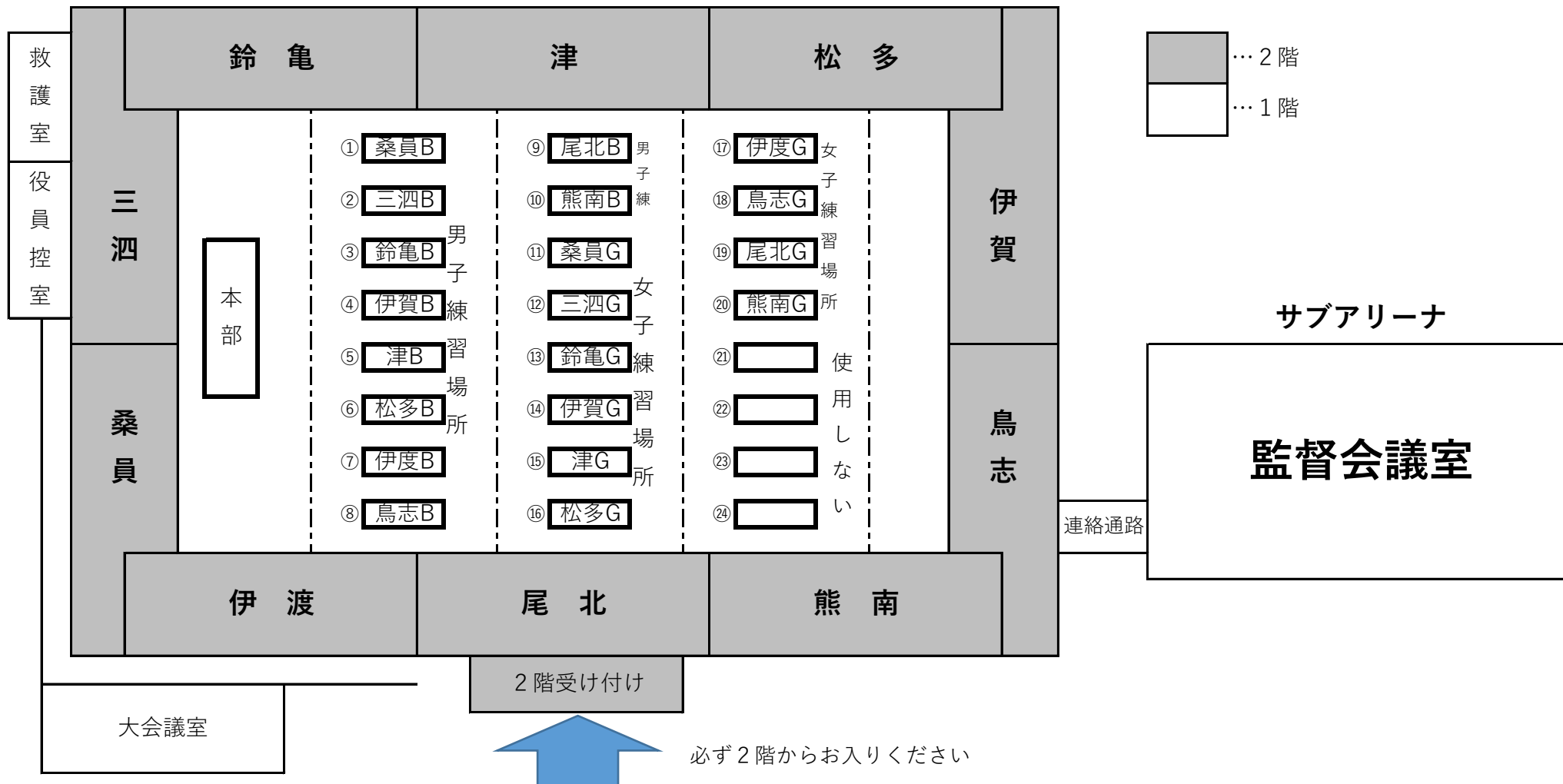
5 ラケットについて

◎ラケットについての確認事項。

- ・ラバーのはみ出した部分が2mm以上ある場合は必ず切っておくこと。
- ・ラバーにブースターを塗ったり、わざと表面を滑らすような後加工、または有機溶剤での接着が認められた場合、失格となる。
- ・ラバーの亀裂・欠損は、フチから5mm以上欠損しているものは使用不可とする。
- ・粒高・表ラバーの粒の欠損も、フチから5mm以上内側に粒の欠損がある場合は使用不可とする。
- ・JTТА 認可のマークがついていないラバーでも、ITTF のマークがついている場合は使用可。
- ・JTТА 認可の刻印がついていないラケット本体は、練習時間の際に審判長、副審判長の許可を得ること。
- ・ただし、試合の結果に支障をきたさないと審判長が判断した場合、上記の限りではない。
- ・ラケットについて、事前に審判長のチェックを受けることができる（朝の練習時間・試合の合間など）。その際、ラケット使用許可証が発行されるので、各試合のラケットチェック時に審判員から指摘された場合、提示すること。
- ・ラケット使用許可証が発行されたラケットでも、その後に破損が認められた場合、再度審判長の確認を取らなければならない。
- ・審判長が使用不可と認めたラケットは、試合で使用できない。その場合、サブラケットを使用するか、他者から借用すること。それができない場合、失格となる。

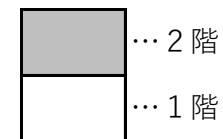
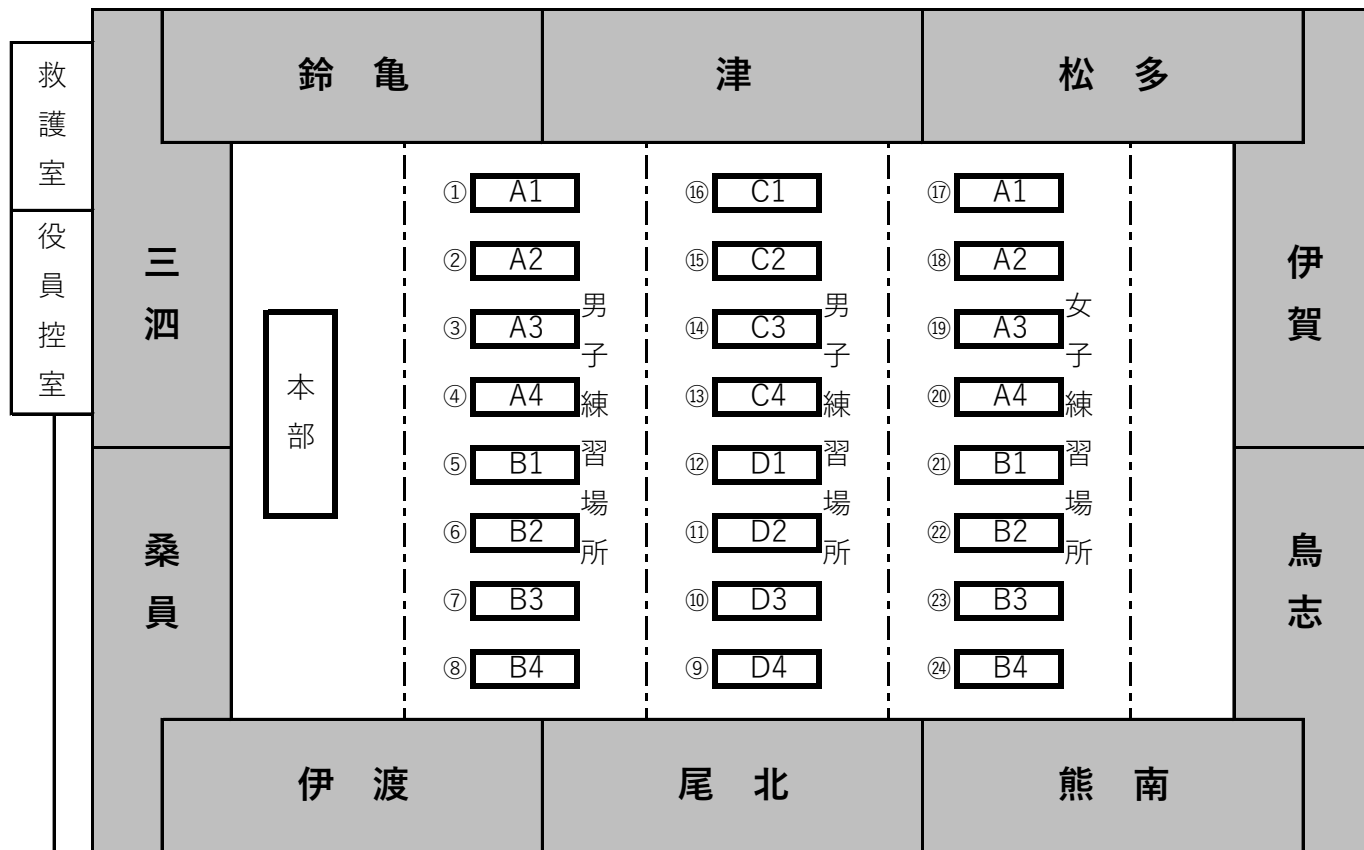
7月31日（日） 個人戦 会場図（練習場所・応援席）

メインアリーナ

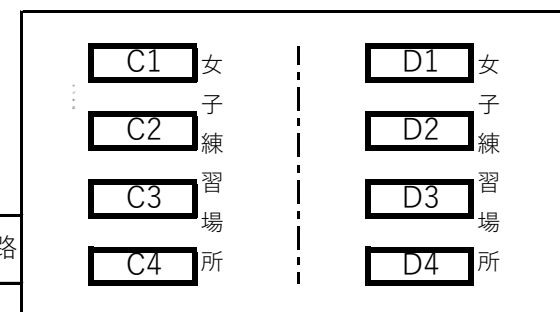


7月30日（土） 団体戦 会場図（練習場所・応援席）

メインアリーナ



サブアリーナ



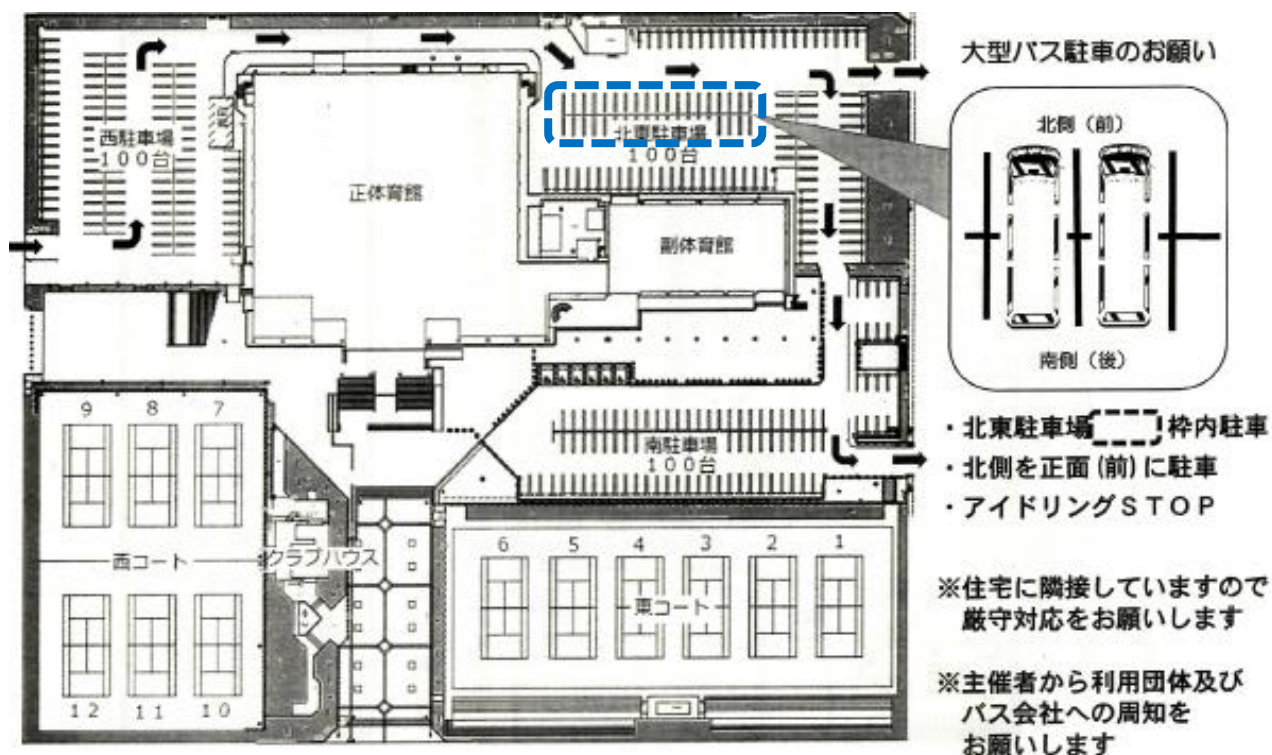
連絡通路

2 階受け付け



必ず 2 階からお入りください

2025年度三重県中学校卓球大会 AGF 鈴鹿体育館駐車場



※バスは必ず  のルートで西側からお入りください。誘導員の指示に従ってください。

※一般車は西側からでも東側からでもお入りいただけます。

※満車になった際は、第2駐車場の方へ案内しますので、誘導員の指示に従ってください。